

TOKYO

J.S.S.D.A

東京支部
便り

59号

March 31
2026

特集

2026年度に向けて広がる事業展開 《2025年度下半期事業を振り返る》

- 2026年「新年賀詞交歓会」
- 2025年度各種資格研修講座
- 女性のための教養講座
- 第43回オール関東特殊鋼親善ゴルフ大会
- インドネシア特殊鋼関連視察研修
- 支部会員交流会
JAL整備工場見学会と麒麟横浜ビアホール
- 東日本ブロック視察見学会
大同特殊鋼・渋川工場と世界遺産・富岡製糸場
- 男性のための教養講座
ワインセミナーと食事会
- eスポーツ大会

▼JAL SKY MUSEUM 整備工場見学



2026年「新年賀詞交歓会」

価格適正化で強い流通を構築

法人化30周年を機に次世代へ繋ぐ

総務部会

2025年度

各種資格研修講座

人材育成部会

東京支部は1月19日（月）、本部と共催で「2026年新年賀詞交歓会」を経団連会館で開催し、約300名が出席した。

冒頭、久木田至会長（櫻井鋼鐵・代表取締役社長）があいさつに立ち、トランプ政権の動向や需要不足に直面する特殊鋼流通業界の現状を報告。改正下請法等の施行による適正な価



約300名が来場。30周年の節目を迎え、業界の発展を誓う熱気に包まれた。

格転嫁に期待を寄せ、「儲かる流通業界」の実現を改めて誓った。また、法人設立30周年の節目に際し、研修事業のWEB化や人材育成への注力を通じて、次世代へ発展的に引き継ぐ決意を述べた。

ご来賓の経済産業省製造産業局金属課長の鍋島学様は、本年施行の「取適法」の活用や高市内閣による成長投資を通じ、特殊鋼流通の活性化を支援すると述べた。続いて、特殊鋼倶楽部副会長の山下敏明様（大同特殊鋼・代表取締役副社長執行役員）が、数量減など構造変化への対応や脱炭素、DXへの挑戦を呼びかけ、力強い乾杯の発声を行った。

中締めでは年男の三上晃史東京支部長（ノボル鋼鐵・代表取締役社長）が、6月に開催される設立30周年を記念する定時総会への参加を呼びかけるとともに、強運の年とされる60年に一度の「丙午」のパワーで業界が大きく発展することを祈念し、三本締めで締めくくった。

特殊鋼販売技士 「入門編」研修講座

年3回実施（4月、7月、10月）
eラーニング形式（全5回／1か月間、随時視聴可）

【10月クラス】受講者108名

特殊鋼販売技士3級研修講座

（Zoomオンライン）
2025年5月15日（木）～6月26日（木）全12回・計30時間
受講者数136名、検定試験7月3日（木）、会場・東京証券会館、受験者138名、合否判定会議7月17日（木）、合格者発表7月18日（金）、合格者数129名

特殊鋼販売技士2級研修講座

（Zoomオンライン）
2025年8月28日（木）～10月9日（木）全12回・計30時間
受講者数71名、検定試験10月16日（木）
会場・鉄鋼会館、受験者数69名、合

基礎から学ぶ特殊鋼～募集のご案内

特殊鋼販売技士入門編

2026年度開講スケジュール

4月講座	4月1日（水）～30日（木）
7月講座	7月1日（水）～31日（金）
10月講座	10月1日（木）～31日（土）
2月講座	2月1日（月）～28日（日）

※講座内容／全5回・計2時間40分

お申し込みはコチラから

適時募集中です。全特協ホームページに募集期間中にバナーが掲載されますのでお申し込みいただけます。

適時
募集中



特殊鋼販売加工技士 （基礎編）研修講座

集合研修形式

2025年11月4日（火）～
2026年1月8日（木）
全4回・計14時間、受講者数28名

否判定会議11月6日（木）、合格者発表11月7日（金）、合格者数44名

女性のための教養講座

自身の魅力を引き出し輝く存在へ

女性のためのパーソナルカラー診断

人材育成部会



第43回オール関東特殊鋼親善ゴルフ大会

秋晴れの下、麻布鋼鉄・須山氏が初優勝

広報部会



人材育成部会は2025年10月3日（金）、東京証券会館にて「女性のための教養講座」を開催した。昨年度に続き、講師にはイメージプロデューサー協会代表理事の工藤亮子氏を迎え、受講者12名が参加するなか「パーソナルカラー診断」を実施した。

冒頭、西尾英俊部会長（大同DMソリューション・取締役）より「本講座を通じて自身の魅力をさらに引き出し、仕事でもプライベートでも、周囲を明るく照らす存在となつてほしい」と、参加者への期待を込めたあいさつがあつた。

講座では、参加者が様々な色の布を顔に当てて顔映りの違いを比較し、一人ひとりに似合う色を確認した。自分の「好きな色」と「似合う色」のギャップに驚きや納得の声が上がるなか、メイク道具のチェックや個別アドバイスも行われ、終始和やかな雰囲気で「女子トーク」に花が咲いた。



布を当て顔映りを確認し合う、和やかな雰囲気の講座風景



修了後の懇親会では、竹内美沙子担当委員（竹内ハガネ商行・副社長）が「他社との交流を深め、日頃のリフレッシュをしてほしい」と乾杯のあいさつを行った。参加者は、新たな自分を発見した喜びとともに、会社を越えた親睦を深める貴重なひとときを過ごした。



第43回オール関東特殊鋼親善ゴルフ大会 成績表

順位	プレーヤー名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	須山紀行（麻布鋼鉄）	45	41	86	15.6	70.4
準優勝	碓井達郎（碓井鋼材）	43	41	84	13.2	70.8
3位	川北誠（川北特殊鋼）	43	43	86	13.2	72.8
4位	本多康人（マクスコーポレーション）	41	43	84	10.8	73.2
5位	山村弥（山鋼精機）	47	44	91	15.6	75.4



左から、藤田氏、初優勝の須山氏、三上氏

広報部会は2025年10月8日（水）、茨城県の龍ヶ崎カントリー倶楽部で「第43回オール関東特殊鋼親善ゴルフ大会」を開催した。秋晴れの下、他支部（名古屋、静岡）を含む36名が参加。競技は須山紀行氏（麻布鋼鉄・取締役）が初優勝を飾り、ベストグロス賞には碓井達郎氏（碓井鋼材・代表取締役）が獲得した。

部長（藤田商事・代表取締役社長）は、好天のもと無事に大会を終えられたことに触れ、「プレーを振り返りながら親睦を深めてほしい」と一同を労った。優勝した須山氏は「ゴルフは仕事に通じる奥深さがある。交流を通じ、今後も学びを得たい」と喜びを語った。

締めあいさつに立った大会会長の三上晃史支部長は、協賛各社や遠方からの参加者に謝辞を述べた後、東日本ブロック主催の工場見学会に言及。「若手の交流としても貴重な機会であり、積極的な参加をお願いしたい」と呼びかけ、大会を締めくくった。

インドネシア特殊鋼関連視察研修

国民の若さと現場の活力が強み

——アジアの成長エネルギーを肌で感じる

内外交流部会

内外交流部会は、2025年10月21日（火）から6日間の日程で、インドネシア特殊鋼関連視察研修を実施した。本研修は、海外工場の視察や現地関係者との交流を通じ、特殊鋼

業界の海外展開の可能性を探るとともに、参加者同士の親睦を深めることを目的としている。事務局を含む計16名が参加し、ジャカルタ、スラバヤ、バリ島の3都市を巡る実り多い行程となった。

至近距離で体感する製造現場 人材と技術に触れた集中視察

ジャカルタでは、丸紅が出資する広大な「MM2100工業団地（MMID）」をはじめ、二輪・四輪等の鍛造品を製造する「P.T. Sankei Gohsyu Industries

（SGI）」および「P.T. 日立建機インドネシア」を視察した。さらにスラバヤへ飛び、「PT. JATIM TAMAN STEEL MFG.」の第1・第2工場にて製鋼から圧延までの工程を詳細に見学した。

参加者からは、以下のような具体的な感想が寄せられている。

- 生産現場の活力・中国メーカーとの激しいシェア争いに晒されつつも、人海戦術や手作業の「職人技」を継承し、原価低減に挑む現地の底力を実感した。

- 人材育成と経営・社員全員で経営理念を読み合い、幹部候補の育成に注力する企業の姿勢や、真面目に実務に向き合う従業員の姿が印象的であった。

- 圧倒的な臨場感：日本の安全基準で

は考えられないほど至近距離で電気炉や圧延工程を視察でき、製造現場の「熱」を直に感じる事ができた。

若き熱量と格差が混在する国文化の深層に触れた現地体験

視察の合間やバリ島での観光、自由時間を通じ、インドネシアの文化にも触れた。平均年齢約30歳という若さと「古き良き昭和の日本」を彷彿とさせる成長エネルギーに圧倒される一方で、深刻な交通渋滞や貧富の格差、生活に根付いた宗教の重みを肌で感じる機会となった。

移動時間の長さという課題はあったが、日を追うごとに参加者同士の会話も弾み、職域や世代を超えた強固なネットワークが築かれた。本研修で得た知見と交流が、参加各社の更なる海外展開や社業発展の糧となることを期待したい。



10月22日、視察先のSGIにて



10月22日、インドネシアとMM2100の概要説明を受ける



10月23日、PT. JATIM TAMAN STEEL MFG.にて



10月25日、ブサキ寺院にて

支部会員交流会

JAL整備工場見学会と キリン横浜ビアホールで親睦を深める

人材育成部会

調査研究部会

内外交流部会

経営効率化部会



「JAL SKY MUSEUM」展示エリアにて航空機のcockpit模型を囲み記念撮影



巨大な機体を間近に迫力ある航空機整備場の現場を体験した



格納庫から滑走路を離着陸する機体を見学する参加者たち



キリン横浜ビアホールで会員同士の親睦を深める懇親会

東京支部は2025年11月8日(土)、支部会員交流会を開催した。今回の交流会は、経営効率化、調査研究、内外交流、人材育成の4部会が初めて合同で企画した試みであり、支部会員22人が参加して親睦を深めた。

交流会の冒頭、あいさつに立った山田雅郎・調査研究部会長(ヤマコー・代表取締役)は、4部会の部会長や委員が検討を重ねてJAL工場見学会と懇親会を企画した経緯に触れ、「一般では予約が取りづらい施設であり、非常に面白い経験となる。全特協では今後もさまざまな事業を企画していくので、皆様には積極的に参加いただきたい」と会員へ呼びかけた。

4部会合同による新しい試みで
貴重な体験ができる見学会

一行はまず、羽田空港の「JAL SKY MUSEUM」にて、航空機整備場や格納庫などの見学を実施した。普段は見ることのできない最新の航空技術や巨大な機体を間近にする貴重な体験に、参加者はその迫力に圧倒され、真剣な面持ちで解説に耳を傾けていた。

見学終了後は用意された大型バスで移動し、横浜市鶴見区の「キリン横浜ビアホール」にて懇親会を開催した。参加者はこだわりのビールと料理を囲み、活気あふれる親睦がはかられた。昼食後は現地での自由解散となり、希望者は各自でキリン工場の見学に足を運ぶなど、秋の一日を有意義に過ごす充実したイベントとなった。

東日本ブロック視察見学会

東京・東北・北関東の3支部で

大同特殊鋼・渋川工場などを視察

総務部会



大同特殊鋼・渋川工場のエントランスにて

東日本ブロック（東京・東北・北関東の3支部）は2025年11月26日（水）、合同の視察見学会を開催した。若手社員らを含む39名が参加し、群馬県内の大同特殊鋼・渋川工場と世界遺産の富岡製糸場を訪れた。

大同特殊鋼・渋川工場で最新の製造工程を視察

渋川工場では、製鋼から特殊（二次）溶解、鍛造、検査までの各工程を視察し、高合金や工具鋼、ステンレス鋼が製造される現場を間近で見学した。製鋼工場では世界最大級の25トン真空誘導炉（VIM）を見学し、鍛造工場では7千トン油圧プレスや高速4面鍛造機による作業を視察。特に、高温に熱せられた真っ赤な鋼が、強大な圧力によって成形されていくダイナミックな工程は、参加者の多くが真剣に見入っていた。さらに航空部品検査工場では、水浸超音波検査装置などの最新設備を見学した。

見学を終え、北関東支部長の宮内保氏（小山鋼材・代表取締役）は、「メ

ーカーの設備や技術はわれわれ流通にとっても重要で、直近の状況を知れたことは非常に有意義だった」と手応えを語った。

懇親会で深まる親睦 次世代への期待

その後、高崎市内で開かれた懇親会では、東北支部長の日下俊之氏（クサカ鋼材・代表取締役）があいさつに立ち、企画を担った北関東支部や本部署務局への謝辞を述べた上で、「業界を取り巻く環境は厳しいが、今日の

見学で改めて『ものづくり』の大切さを実感した。この経験を明日からの本業に生かしてほしい」と語った。また、「こうした交流の場は非常に貴重。商売の枠を超えてお互いが切磋琢磨し、将来のビジネスにもつながるこの輪に、ぜひ積極的に参加してほしい」と、次世代への期待を述べた。

最後は、学生時代に応援団に所属していた鴨山剛至氏（東海鋼鉄・代表取締役社長）による力強いエール「フレイフレイ全特協」で会を締めくくった。



世界遺産・富岡製糸場を訪れ、歴史的な製糸設備を見学した



鴨山氏の力強いエールで中締めをした

東京支部 2026年度事業計画一覧

支部を超えて楽しめる東日本ブロック事業など、今年度も見逃せないイベントが続々と開催されます。

※2026年4月1日～2027年3月31日(部計画案)

2026年 4月	● 4月1日(水) ～4月30日(木)	特殊鋼販売技士入門編研修講座(全4回:2頁参照) eラーニングによるオンライン講座
	● 4月24日(金)	「はがねの日」ボウリング大会 於：東京ドームボウリング場
5月	● 5月～6月	特殊鋼販売技士3級研修講座 計12日間 Zoomによるオンライン講座 検定試験7月2日(木)
	● 5月～6月	支部交流会① ※例年、野球観戦等を実施
6月	● 6月15日(月)	全特協(本部) 設立30周年記念式典&第14回定時総会 於：パレスホテル東京
7月	● 7月1日(水)	東京支部 第14回定時総会&賛助会員との交流会 於：ホテルグランドヒル市ヶ谷
	● 7月1日(水) ～7月31日(金)	特殊鋼販売技士入門編研修講座 eラーニングによるオンライン講座
8月	● 8月～10月	特殊鋼販売技士2級研修講座 計12日間 Zoomによるオンライン講座 検定試験10月15日(木)
9月	● 9月～11月	東日本ブロック視察研修 ※視察先は国内で検討中
	● 9月～2月	人材育成事業(教養講座など) ※例年、「パーソナルカラー診断」、「料理教室」などを実施
10月	● 10月1日(木) ～31日(土)	特殊鋼販売技士入門編研修講座 eラーニングによるオンライン講座
	● 10月～	玉掛け・クレーン講習会 (浦安鐵鋼団地協同組合と共同開催) ※10～12月に実施予定
	● 10月6日(火)	第44回 オール関東特殊鋼親善ゴルフ大会 於：我孫子ゴルフ倶楽部
11月	● 11月/日時未定	支部交流会② ※例年、そば打ち体験や見学会等を実施
	● 11月16日(月)～ 12月21日(月)	特殊鋼販売加工技士基礎編 全4回・14時間、対面による講座を実施予定(検定試験無し)
12月	● 1月18日(月)	新年賀詞交歓会(本部と共同開催)於：経団連会館
	● 1月～3月	特殊鋼販売加工技士上級編講座 8回の集合とオンラインのハイブリッド講座、 1回の実務(オンラインWEBのビデオ実習) 検定試験：2027年3月24日(水)
2027年 1月	● 1月～3月 開催予定	支部交流会③ ※23年度は「江戸落語を食べる会」、24年度は未開催、 25年度は支部交流会②③の4部会合同で実施
2月	● 2月1日(月)～ 28日(日)	特殊鋼販売技士入門編研修講座 eラーニングによるオンライン講座
3月		



毎年4月のボウリング大会は、社員向けイベントであると同時に、業界内企業間の親睦の場にも



野球観戦やそば打ちに加え、一昨年度には落語会にも参加するなど、多彩な企画の支部会員交流会



従業員の安全な作業を支援するため、玉掛けおよびクレーン運転の講習を毎年実施

男性のための教養講座「ワインセミナー」

人材育成部会

ワインの芳醇な香りと歴史に酔いしれる人生を緩やかに彩る、大人の嗜みを学ぶ

人材育成部会は2026年2月6日（金）、港区元赤坂の明治記念館で、ソムリエであり飲食店へのコンサルティングを手がける『コ・オペレーション』代表の山本真也氏を講師に迎え、「男性のための教養講座・ワインセミナー」を開催した。冒頭、人材育成部会の仲田敏行（大洋商事・専務取締役）担当委員は、「単なる知識習得に留まらない、ワインの背景を感じ取る体験型レクリエーション」と趣旨を説明。豪華景品付きのテイasting競技など、楽しみながら学ぶ工夫が凝らされた会となった。

第1部の講義で山本氏は、ワインの歴史や文化的な奥深さを詳説し、ワインは土地のロマンや情熱が凝縮された文化であると力説。レストランでのスマートな注文方法や、グラスを回しすぎない「自然な振る舞い」こそが肝要との教えに、参加者は熱心に耳を傾けた。

続く、「ブラインドテイasting競技」では、チリ産とフランス産の飲み比べを実施。ラベルを隠した状態で五感を研ぎ澄ませ、ワインを芸能人に例えるなど、独自の感性でその個性を分析。正解発表のたびに会場は大きな歓声と熱気に包まれた。

会食の際の乾杯では、川島幸一郎（プルータス・執行役員）副会長は、「ワインを人生の速度を緩やかにするものと捉える講師の視点に深く共感した」と述べ、新たな嗜みへの期待を語った。

「ワインは人と時間をシェアし、感動を分かち合うもの」という山本氏の言葉通り、和やかな交流の場となり、知識を超えた奥深さを肌で感じ、参加者の人生を豊かに彩る芳醇なひとときとなった。

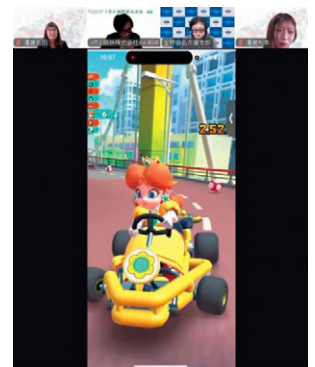


（左から）山本氏と仲田氏、川島氏

「第1回 eスポーツ大会」を開催／ オンラインで育む次世代の絆

経営効率化部会

経営効率化部会は1月24日（土）、名古屋支部と共催で初の「eスポーツ大会」を完全オンラインで開催した。競技種目のスマホゲーム「マリオカート ツアー」には、東京3、名古屋5の計8チームが参戦。支部の枠を超えた交流と次世代人材のつながり作りを目的に、画面越しに熱い火花を散らした。レースは実況・解説付きの本格的なチーム戦で行われ、随所でデッドヒートが展開。見事なチームワークで東京支部のチーム「赤甲羅卍リベンジャーズ」（スチール）が初代王者に輝いた。続く2位、3位には名古屋支部のチーム「ウメトク」（ウメトク）とチーム「GO！GO！クマガイ!!」（クマガイ特殊鋼）が食い込んだ。各チームの個性が光る、新時代の交流イベントとなった。



編集後記

本号では、2025年度下半期の事業報告として、各種研修講座や工場見学、海外の視察研修、交流会など、多彩な活動の様子をお伝えしております。専門性の向上に加え、文化や教養に触れながら会員相互の親睦を深める、充実した半年間となりました。

本年6月15日には、全特協設立30周年を記念する定時総会が開催されます。先人の歩みに学び、その思いを次代へとつなぎながら、さらなる発展を目指してまいります。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

TOKYO 2026.3.31 (第59号)

一般社団法人全日本特殊鋼流通協会 東京支部 便り

発行 一般社団法人全日本特殊鋼流通協会 東京支部
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館4階
TEL.03-3669-5803 FAX.03-3669-0395

発行人 三上晃史（東京支部長）
編集責任者 藤田憲義（東京支部広報部会長）
制作 株式会社トライ